

全卒業生を対象とする調査(結果概要)

1. 調査概要

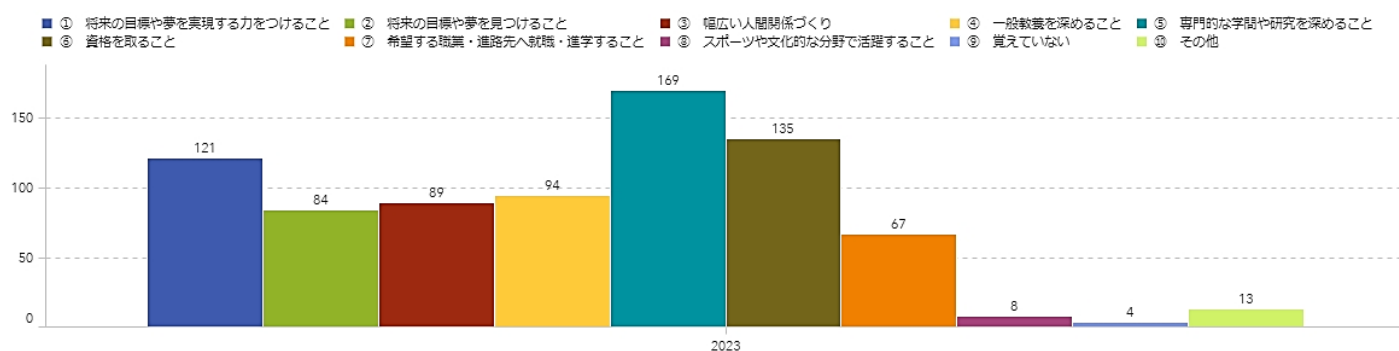
- (1) 調査実施時期:2023年3月30日(鴨台会報発送開始日)～4月21日
- (2) 調査方法:鴨台会報に、調査依頼書及び調査票を同封し、FAX、あるいは調査 web サイトから回答を求めた。
- (3) 調査対象:鴨台会入会者で住所が分かっている者(本学のほぼ全卒業生。一部本人希望による送付差止あり)。
配付数は約 29,000 件(1 件に複数の卒業生が同居しているものも 1 件とカウント)。

2. 調査結果

- (1) 回答数:299 件(配付数分母とした回答率は 1.03%)
- (2) 回答者の概況:男性 132 名、女性 130 名、不明 37
- (3) 結果概要:

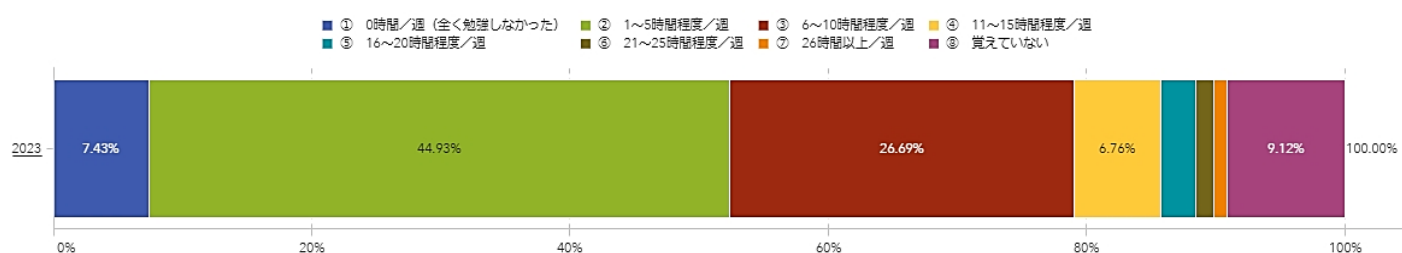
① 本学入学時の期待

最も多いのは「専門的な学問や研究を深める」であり、次に「資格を得る」、「将来の目標や夢を実現する力をつける」「一般教養を深める」・「幅広い人間関係づくり」と続いている。



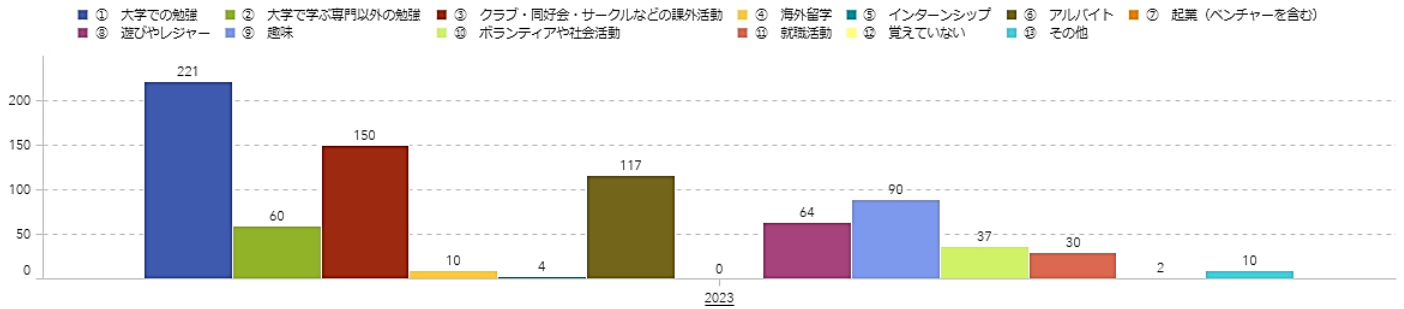
② 授業外の授業に関する学修時間(1週間あたり平均時間、試験期間除く)

最も多いのは「1～5 時間程度」(44.9%)、次に、「6～10 時間程度」(26.7%)、「覚えていない」(9.1%)の順である。11 時間以上の回答の合計は、「覚えていない」を除くと、13.0%であった。

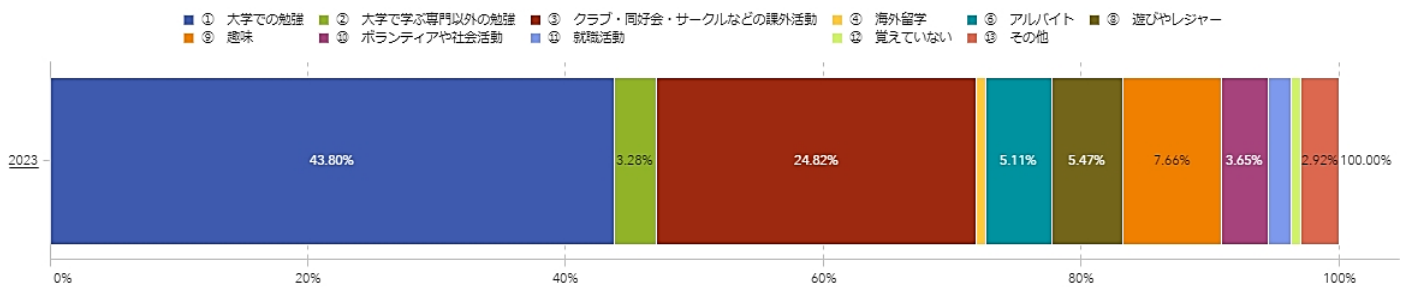


③ 大学時代力を入れた活動(複数回答)と、その中で最も力を入れた活動

最も多いのは「大学での勉強」であり、次に、「課外活動」「アルバイト」「趣味」「遊びやレジャー」と続く。

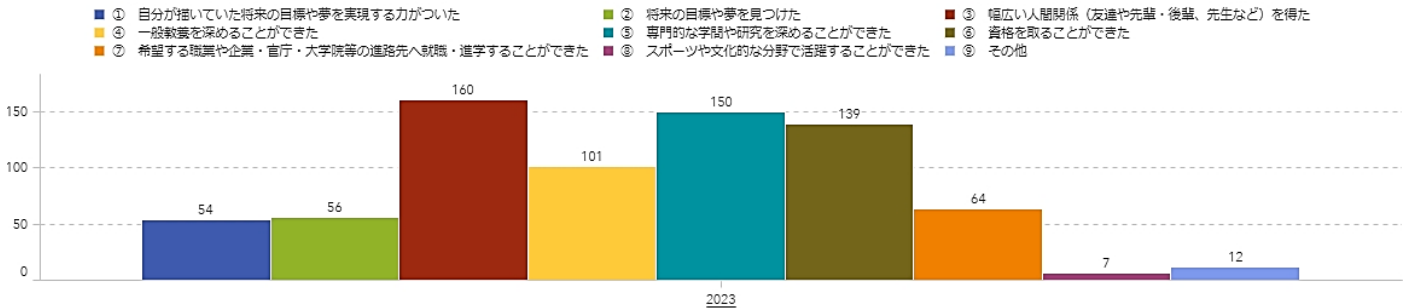


また、その中で、最も力を入れたものを聞いた結果では、「大学での勉強」(43.8%)であり、次に、「課外活動」(24.8%)、「趣味」(7.7%)、「遊びやレジャー」(5.5%)、「アルバイト」(5.1%)と続いている。

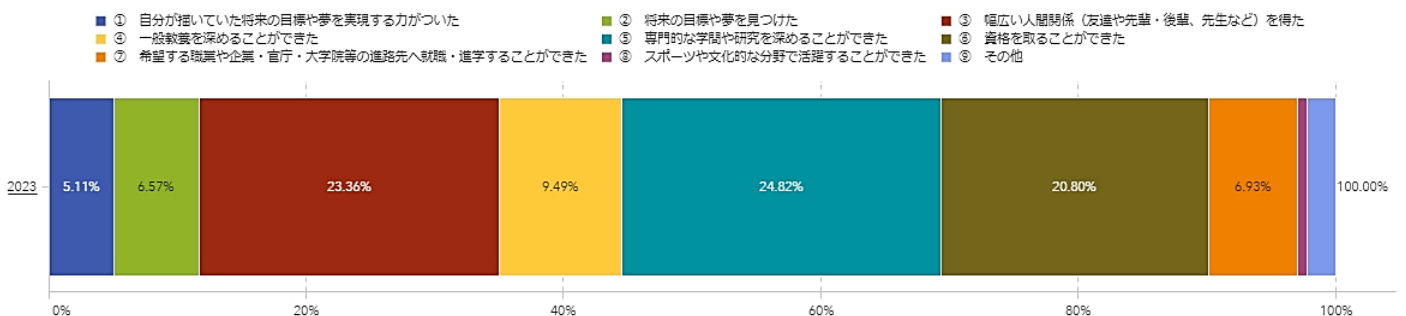


④ 本学で修得・達成できたこと(複数回答)とその中で最も修得・達成できたこと

最も多いのは「幅広い人間関係」であった。次に、「専門的な学問や研究」「資格取得」「一般教養」「希望する職業や企業・官庁・大学院等の進路先へ就職・進学することができた」と続いている。

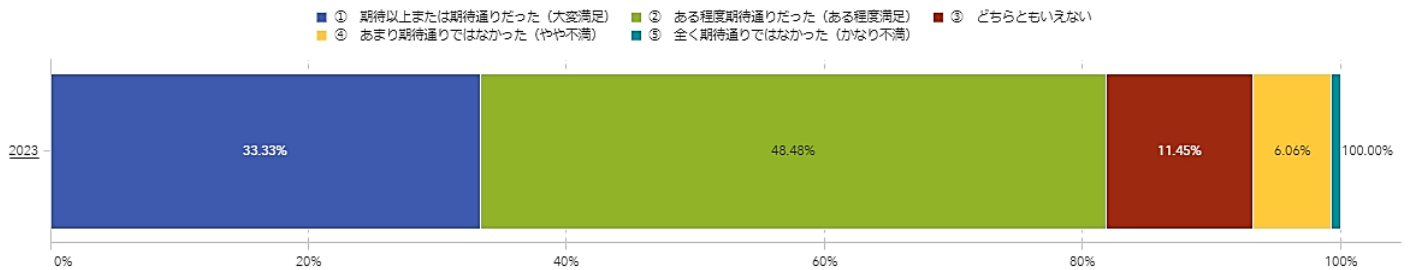


その中で、最も修得・達成出来たことは、「専門的な学問や研究」(24.8%)であり、ほぼ同率で「幅広い人間関係」(23.4%)、「資格取得」(20.8%)と続いている。



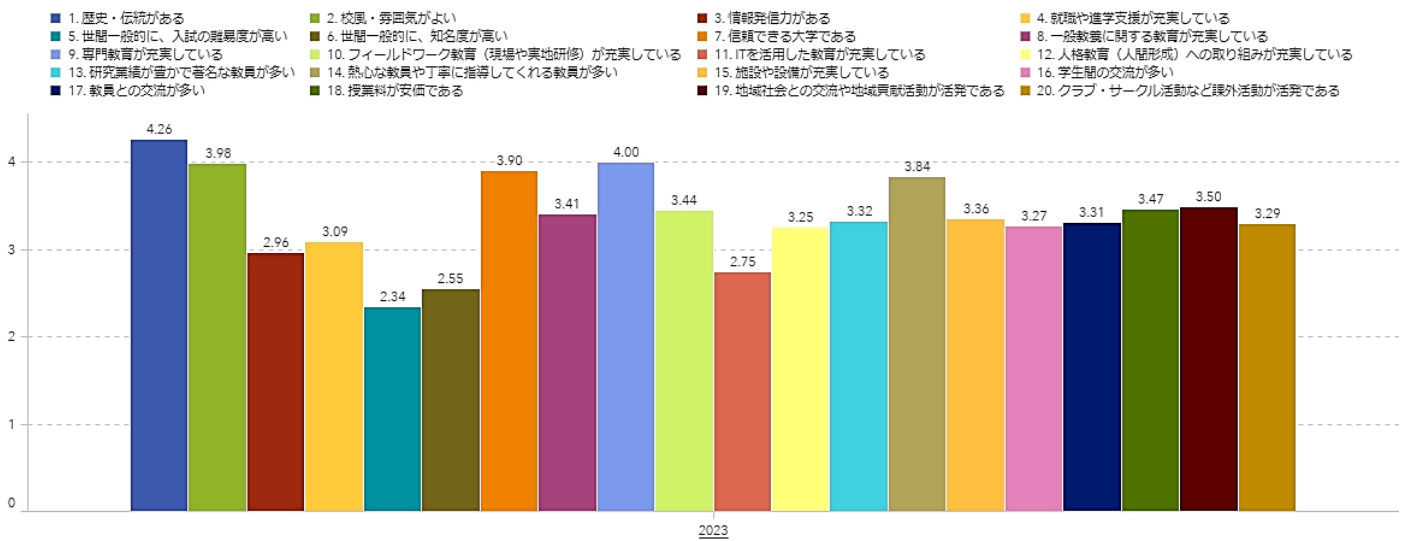
⑤ 入学前の期待と比較した評価

最も多いのは「ある程度期待通りだった」(48.5%)であり、次に、「期待以上または期待通りだった」(33.3%)で、これらのポジティブな回答の合計の割合は約 82%であった。一方で、ネガティブの合計は約 6%であった。



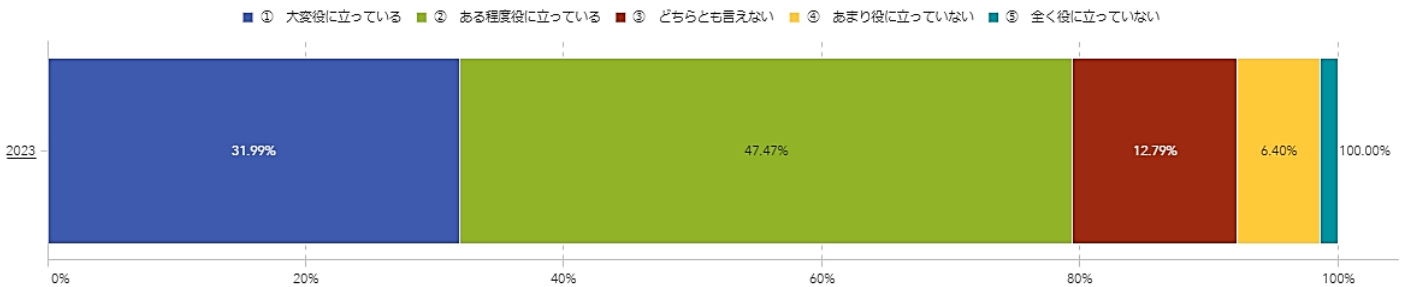
⑥ 本学の教育への所感

最も評価が高いのは「歴史・伝統」であり、次に、「専門教育の充実」「校風・雰囲気」「信頼出来る大学」「熱心な教員」と続いている。一方で、評価が低いのは、順に「入試難易度」「知名度」「IT 活用」「情報発信力」「就職支援」であった。



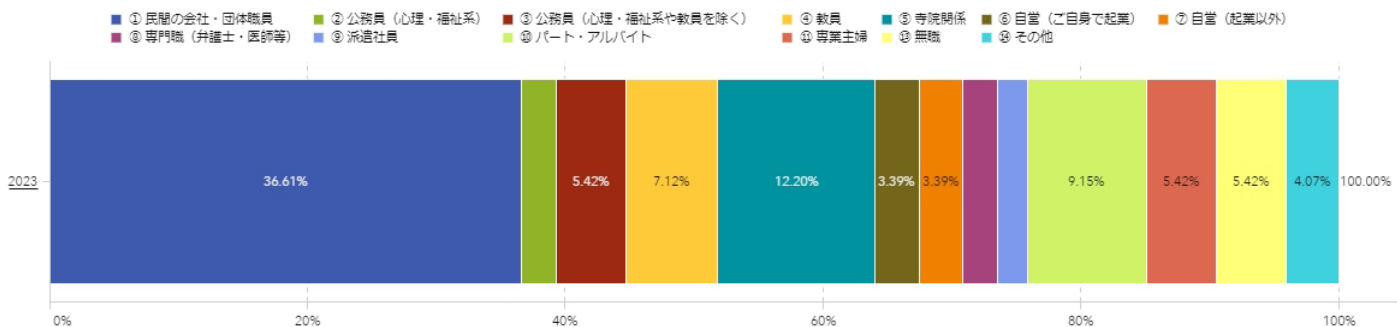
⑦ 学生生活の社会生活での役立ち感

学生生活の卒業後の役立ち感について、最も多いのは「ある程度役立っている」(47.5%)。次に、「大変役立っている」(32.0%)。一方で、「役立っていない」の合計は約 7.8%であった。



⑧ 現在の仕事の状況

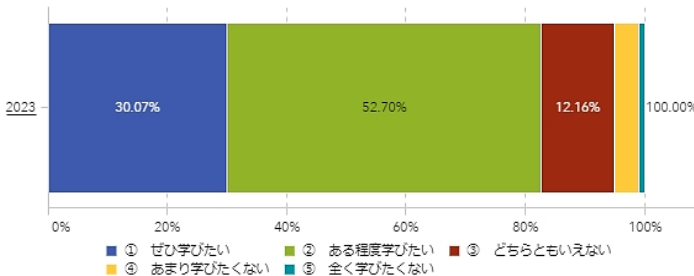
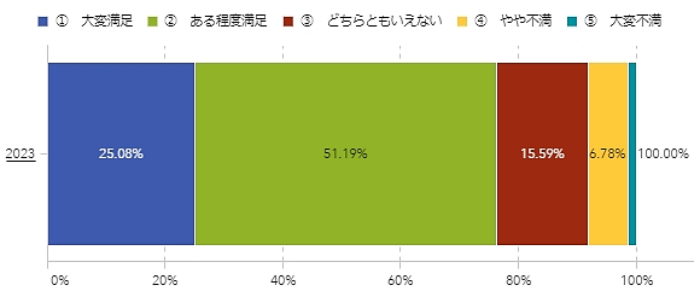
現在の仕事の状況について、最も多いのは、「民間企業等」(36.6%)。次に、「寺院関係」「パート・アルバイト」「教員」と続いている。「公務員」の合計は 8.1%であり、「専業主婦」、「無職」と続いている。



⑨ 卒業後の現在の仕事に対する満足感と今の生活の幸福感

現在の仕事への満足感は、「ある程度満足」(51.2%)、「大変満足」(25.1%)、一方で、不満の合計は約 8.1%であった。

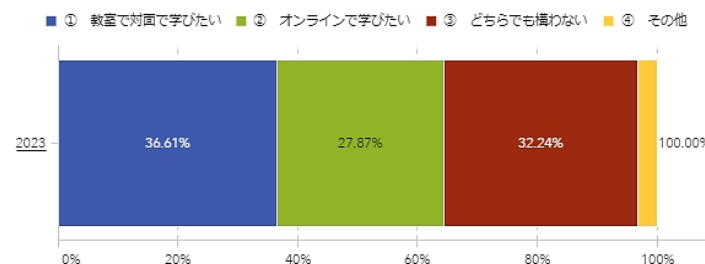
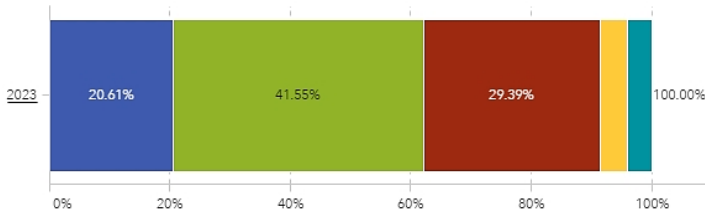
今の生活に対する幸福感は、「ある程度感じている」(52.7%)、「大変感じている」(30.1%)。一方で、ネガティブな回答の合計は約 5%であった。



⑩ 本学での学び直しへのニーズ

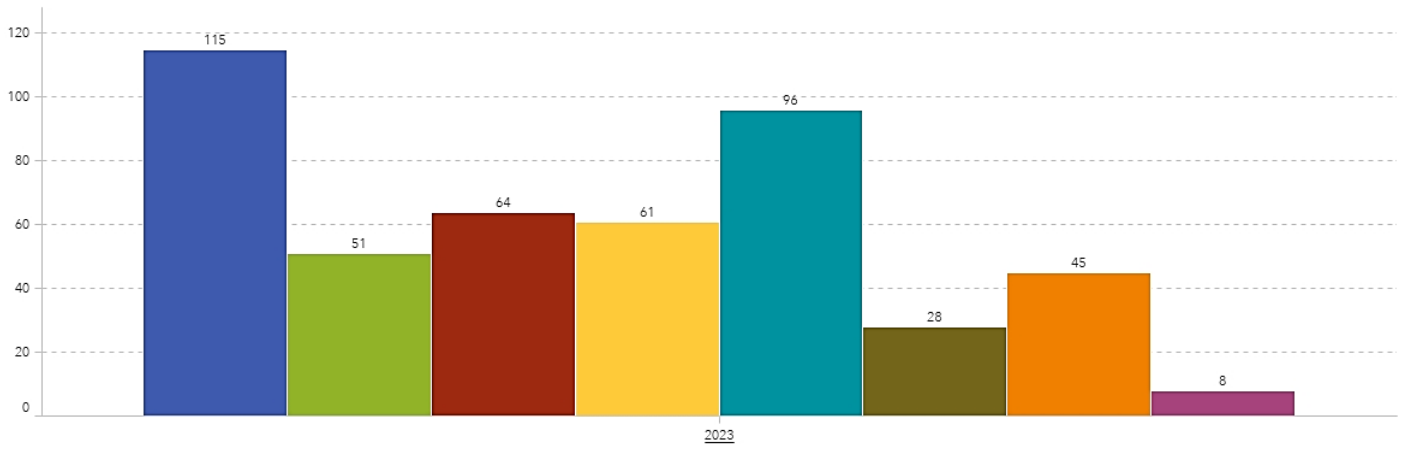
「ぜひ学びたい」(20.6%)、「ある程度学びたい」(41.6%)と、合計で約 6 割 (184 人)に、本学での学び直しのニーズがあることがわかった。

学び直しを行う際に希望する受講形態については、「教室で対面で学びたい」(36.6%)が最も大きい。一方で、「オンライン」「どちらでも構わない」を合計すると 60.1%であり、オンラインでの受講も一般的となっていることがわかる。



学び直しを行ってみたい内容(複数回答)については、「文化教養」が最も多く、「心の問題」「社会福祉の問題」「地域問題」の順に続いている。「データサイエンスや IT 技術」「語学(英語等)」などのスキルに関する内容よりも、知識やものの考え方に関する内容が期待されていることがわかる。

- ① 文化教養（仏教、文学、歴史等）
- ② 社会問題（貧困、環境等）
- ③ 社会福祉の問題（介護、医療、包括ケア等）
- ④ 地域問題（人口減少、少子化、地域活性化、まちづくり等）
- ⑤ 心の問題（対人関係、親子関係、心の健康等）
- ⑥ データサイエンスやIT技術
- ⑦ 語学（英語等）
- ⑧ その他



以上